

## 第5学年 音楽科

教科 目 標	(1) 創造的に音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高め、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てる。 (2) 基礎的な表現の能力を高め、音楽表現の喜びを味わうようにする。 (3) 様々な音楽に親しむようにし、基礎的な鑑賞の能力を高め、音楽を味わって聴くようにする。	
評価 方法	演奏の聴取・技能・創作 活動の観察 発言内容 プリント他	
月	単元・題材名	主な学習内容
4月	<のっぼんのうた みんなのうた> こいのぼり(共) 他	● 主旋律と低音がつくる音の重なりを感じ取って表現する。
5月	音の重なりとひびき 茶色の小びん こきょうの人びと 他	● 和音がつくる音の響きを感じ取って表現する。
6月	アンサンブルのみりよく ◎いろいろな合唱 ◎ハロー・シャイニングブルー	● 声の種類を知り、さまざまな形態による合唱の響きの特徴を感じ取って聴く。 ● 歌詞の内容や曲想を生かした表現を工夫して合唱を楽しむ。 ● 楽器の音色をとらえ、音の重なりや響きを味わいながら、表現したり鑑賞したりする。
7月	言葉と音楽 ◎星とたんぽぽ 赤とんぼ ◎山田耕祐の歌曲	● 歌詞と旋律の結びつきを感じ取りながら、同じ詩をもとにつくられた二つの楽曲の、それぞれの特徴を感じ取って聴く。 ● 言葉のリズムや抑揚と結びついた旋律の流れに気を付けて、情景を思い浮かべながら鑑賞したり、歌い方を工夫したりする。 ● 言葉と旋律の結びつきを感じ取りながら楽しく音楽づくりをする。
9月	<音のスケッチ> 言葉のイメージから音楽を作ろう	● 言葉と旋律の結びつきを感じ取りながら楽しく音楽作りをする。
10月	音楽の旅 子もり歌(共) 他 ◎日本の民謡と子もり歌 はやしことばメドレー ◎世界の音楽  音楽発表会の曲	● 表現や鑑賞を通して、日本の民謡や子守歌に親しみ、特徴を感じ取る。 ● いろいろな国の音楽の特徴や違いを感じ取りながら、それぞれのよさや面白さを味わって聴く。 ● 互いに聴き合い、自分のパートの役割を感じて、友だちと表現の工夫をしながら、響きの美しさを感じて演奏する。
11月	豊かな表現を求めて 冬げしき(共)  音楽発表会の曲	● 音楽を形づくっている要素のはたらきや、曲想の変化を感じ取り、友達とそれを生かした表現の工夫をしながら演奏する。 ● 互いに聴き合い、自分のパートの役割がわかり、友だちと一緒に表現する喜びを感じて、響きの美しさを味わいながら演奏する。
12月	<にっぼんのうた みんなのうた> スキーの歌(共) 他	● 拍の流れにのって、フレーズや旋律の流れを生かして表現する。 ● 時の移ろいや自然を感じて、情景を想像しながら表現する。
1月	音楽のききどころ ◎ピアノ五重奏曲「ます」第4楽章 他	● 主題の変化や伴奏の動き、楽器同士のかかわり合いを捉え、変奏曲を楽しむ。 ● 主題や伴奏がどのように変化しているかを探りながら、曲想を感じ取る。

2月	<p><b>心を合わせて</b></p> <p>ルパン三世のテーマ 君をのせて</p> <p><b>卒業式に向けて</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音楽を形づくっている要素の働きや、曲想の変化を感じ取り、歌詞の内容を生かして表現する。</li> <li>● 互いに聴き合い、自分のパートの役割を捉えて、美しい響きで心を込めて演奏する。</li> </ul>
3月	<p><b>卒業式に向けて</b></p> <p>国歌</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音楽を形づくっている要素の働きや、曲想の変化を感じ取り、歌詞の内容を生かして表現する。</li> <li>● 互いに聴き合い、自分のパートの役割を捉えて、美しい響きで心を込めて演奏する。</li> </ul>